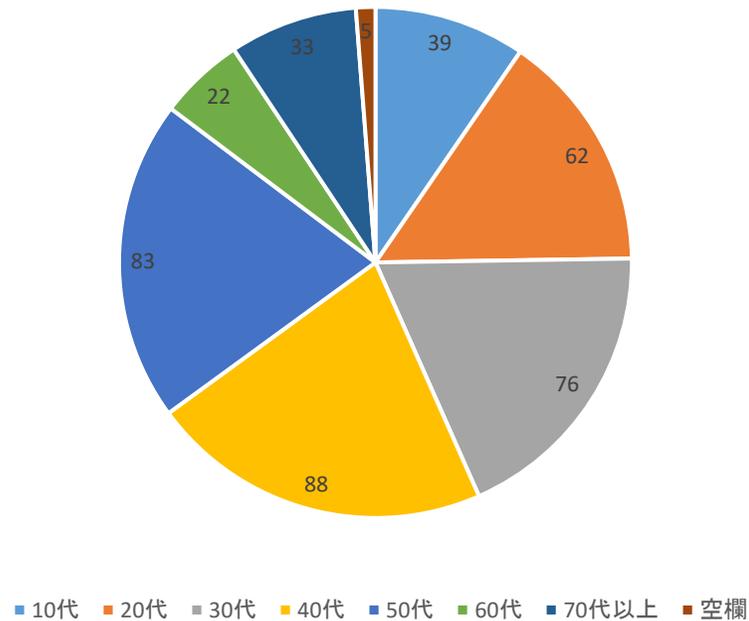


回答者の属性（年代、住んでる地域）

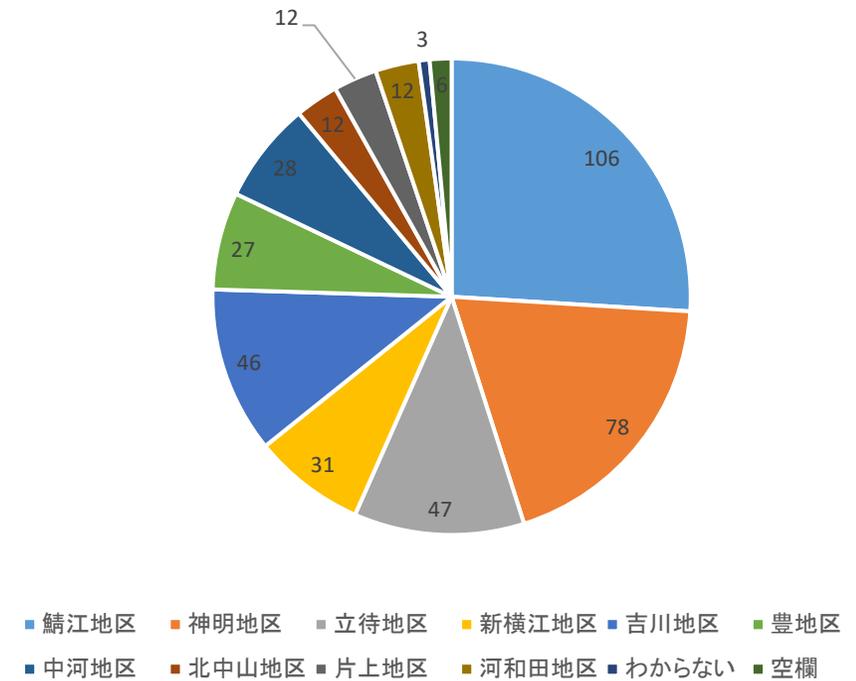
資料No.8-2

- ・回答者408名のうち30代から50代が約2割ずつで回答者の約6割を占め、残り10代から20代が2割、60代以上が2割の回答となった。
- ・住んでる地域は、鯖江地区が約2.5割と最も多く、神明地区、立待地区と続いた。

回答者年齢

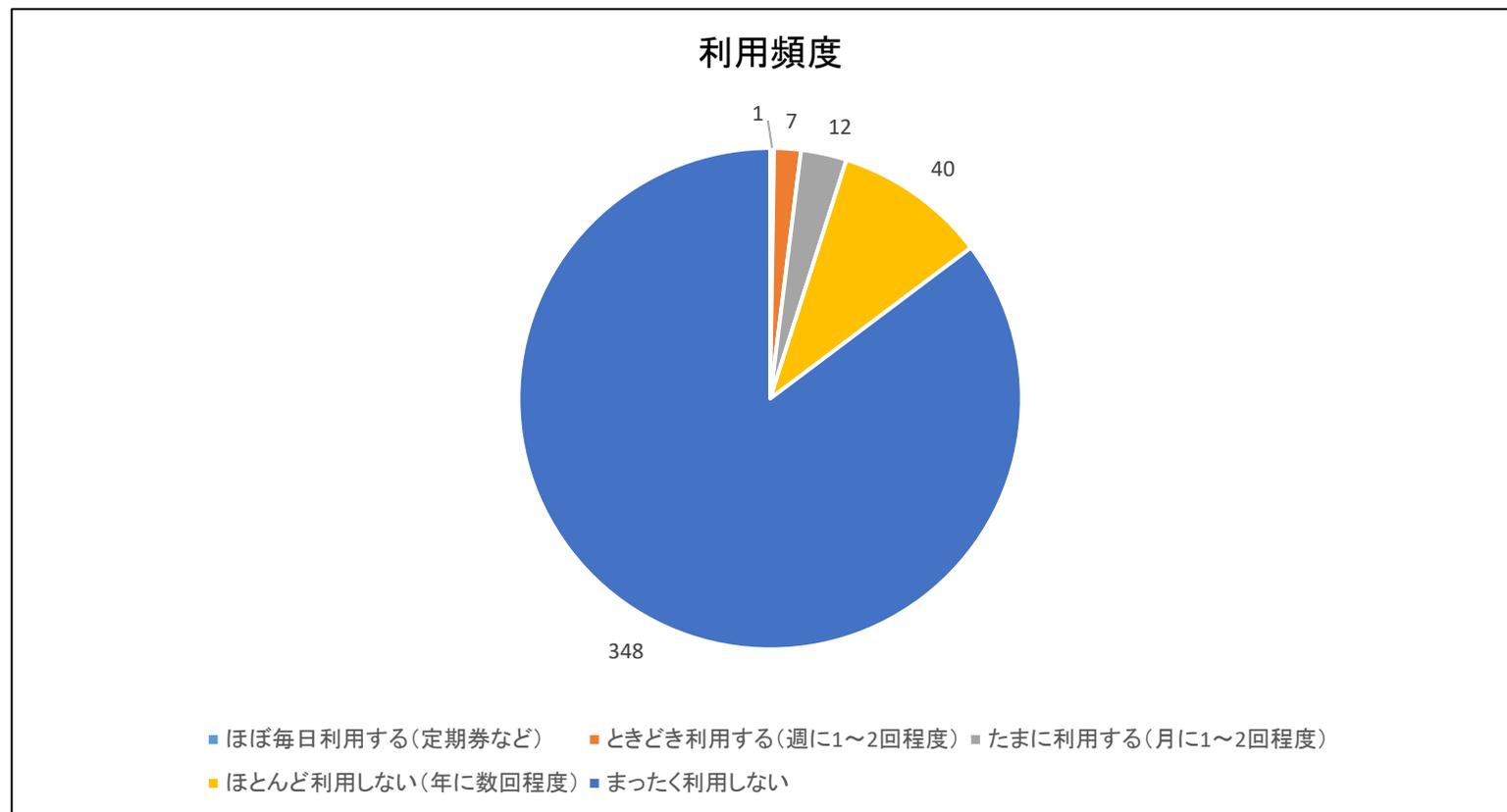


住んでる地域



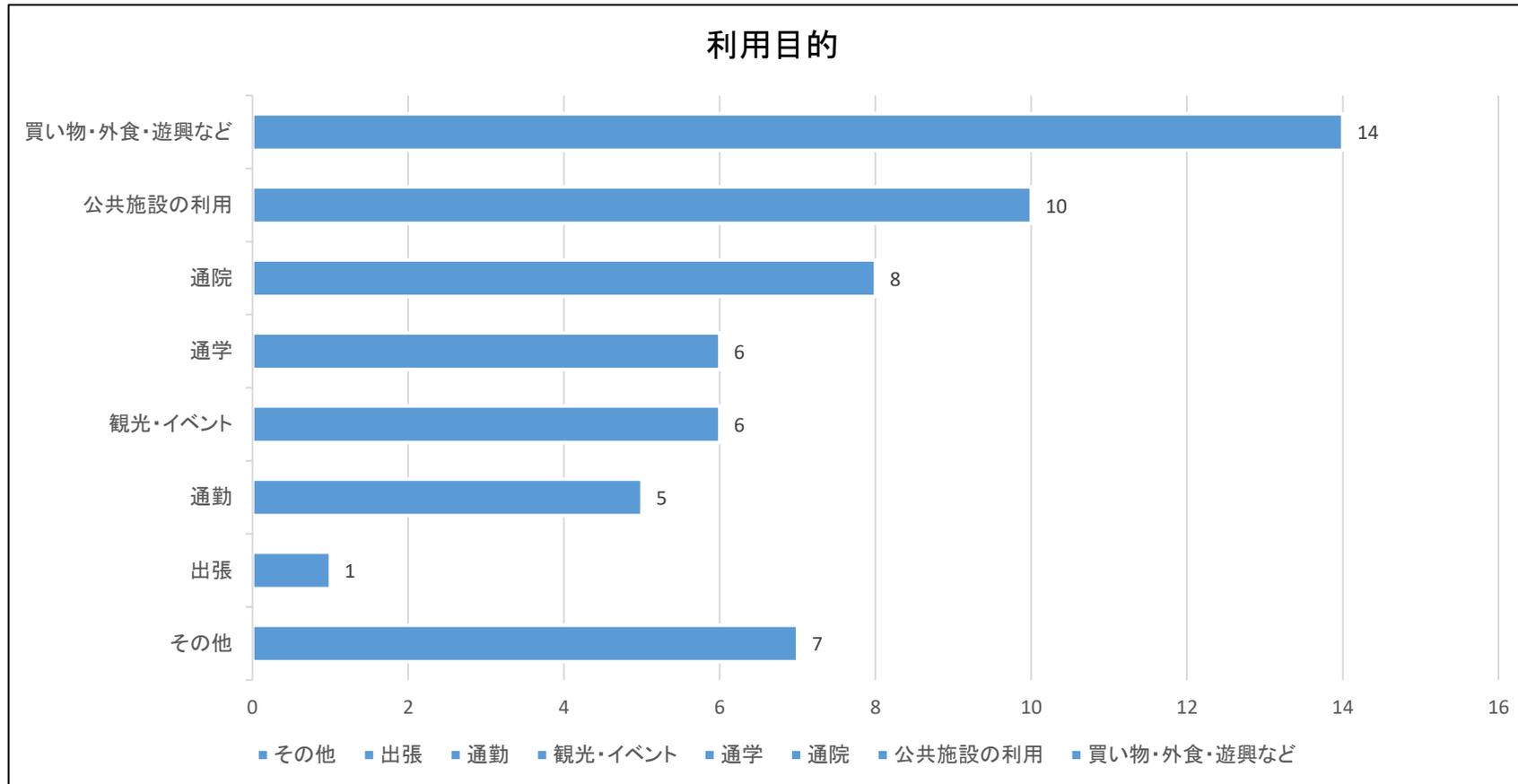
つつじバスの利用頻度

- ・ 408名の回答者のうち348名の方が「まったく利用しない」と回答、「ほぼ毎日利用する」「ときどき利用する」「たまに利用する」と回答した人は全体の約5%に留まった。
- ・ 内訳としては、「ほぼ毎日利用する」と回答したのは10代が1名のみ、「ときどき利用する」と回答したのは20代が3名、50代が2名、70代以上が1名となった。



つつじバスの利用目的

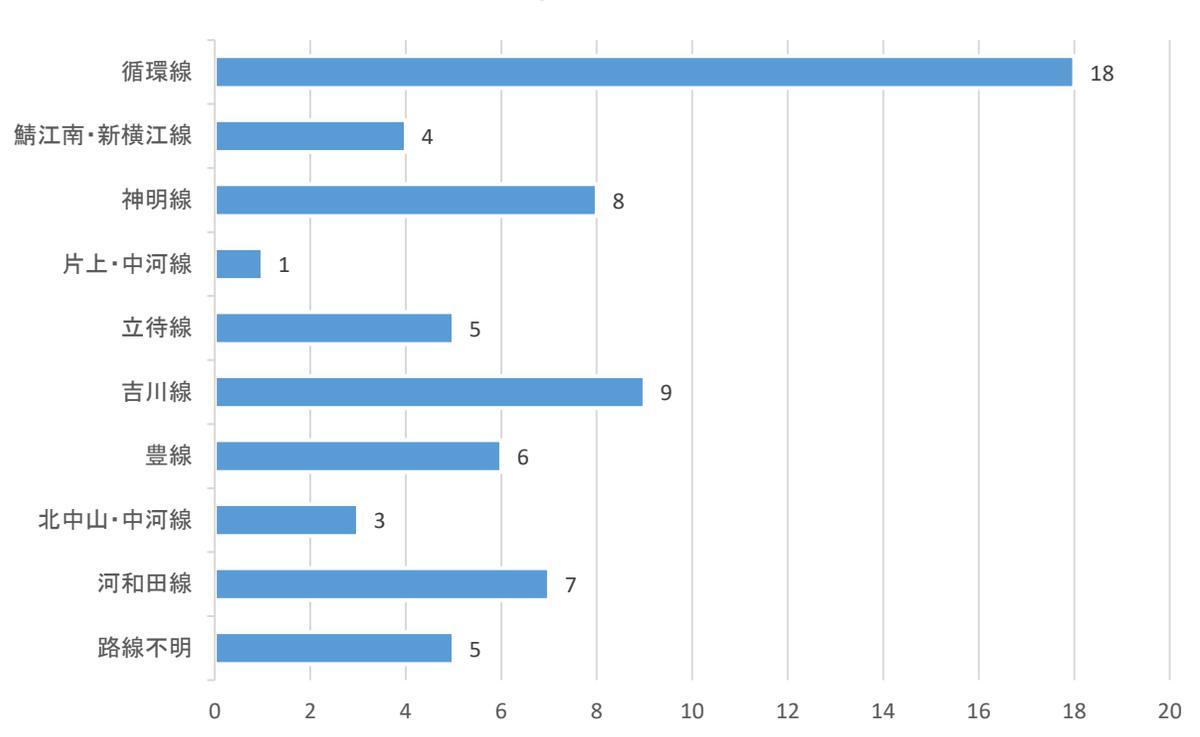
・利用目的を回答した57名のうち、「買い物・外食・遊興など」と回答した人が14名と最も多く、「公共施設の利用」が10名、「通院」が8名、「通学」「観光・イベント」が6名ずつ、「通学」が5名の回答となった。



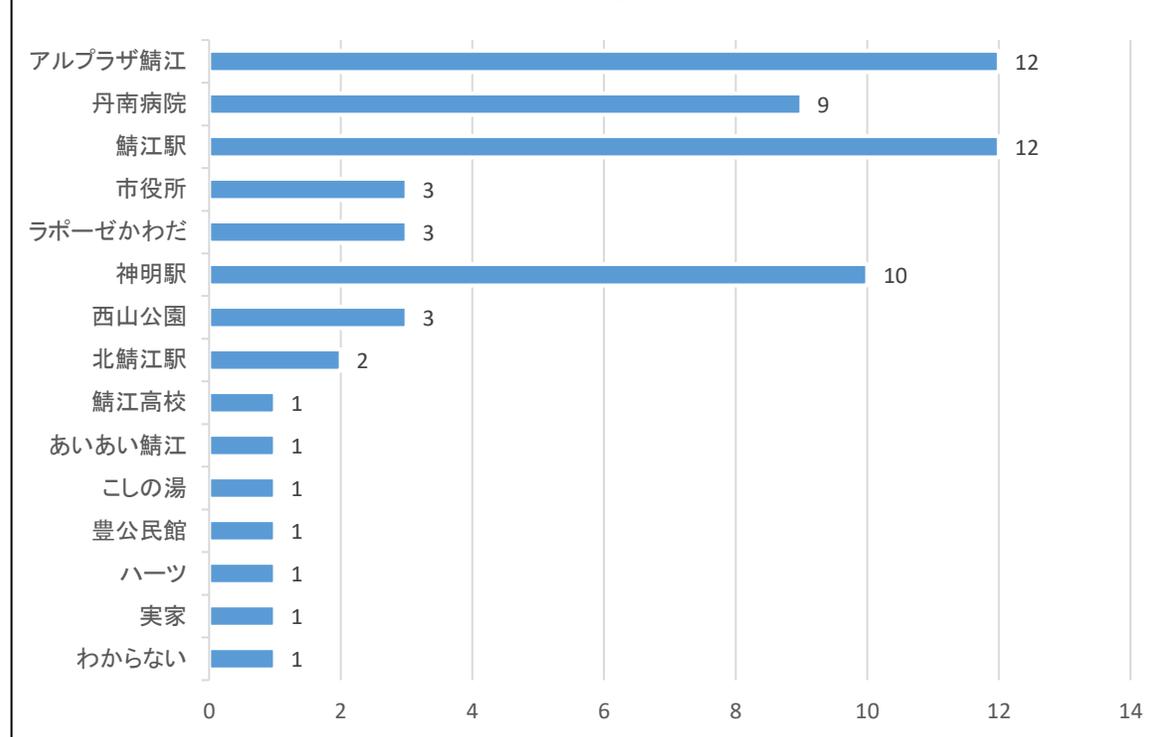
どの路線を利用するか、行先

- ・循環線を利用する人が18名と最も多く、神明線は8名、吉川線は9名、河和田線は7名の回答となった。
- ・行先は、アルプラザ鯖江、鯖江駅が12名ずつと最も多く、次いで神明駅が10名、丹南病院が9名となった。

どの路線を利用するか



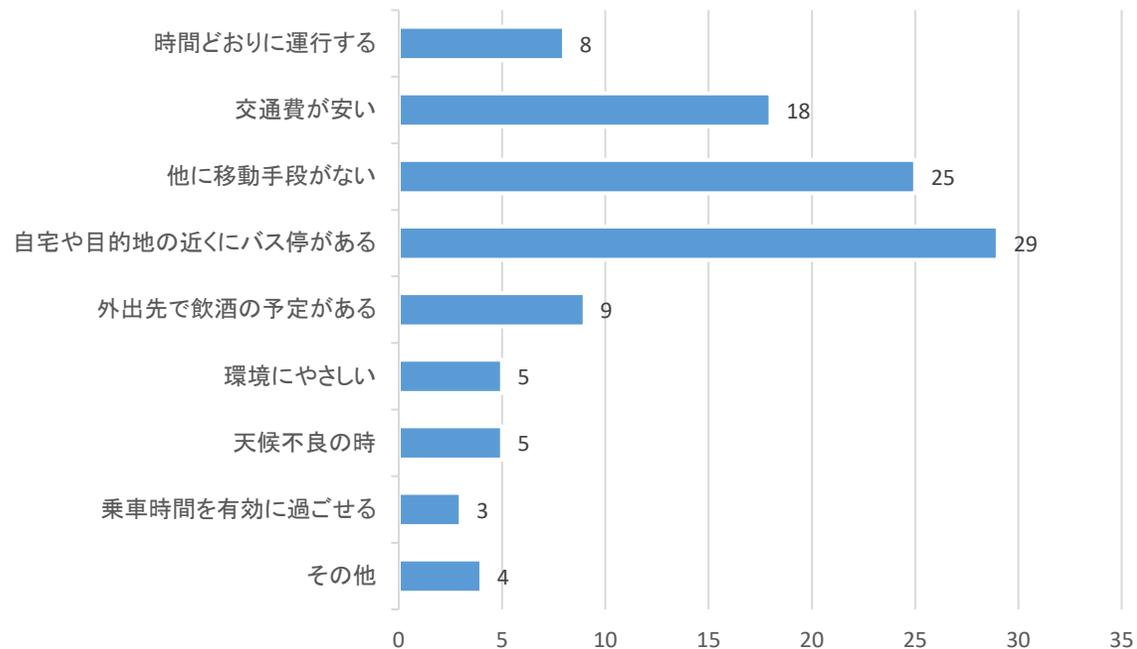
行先



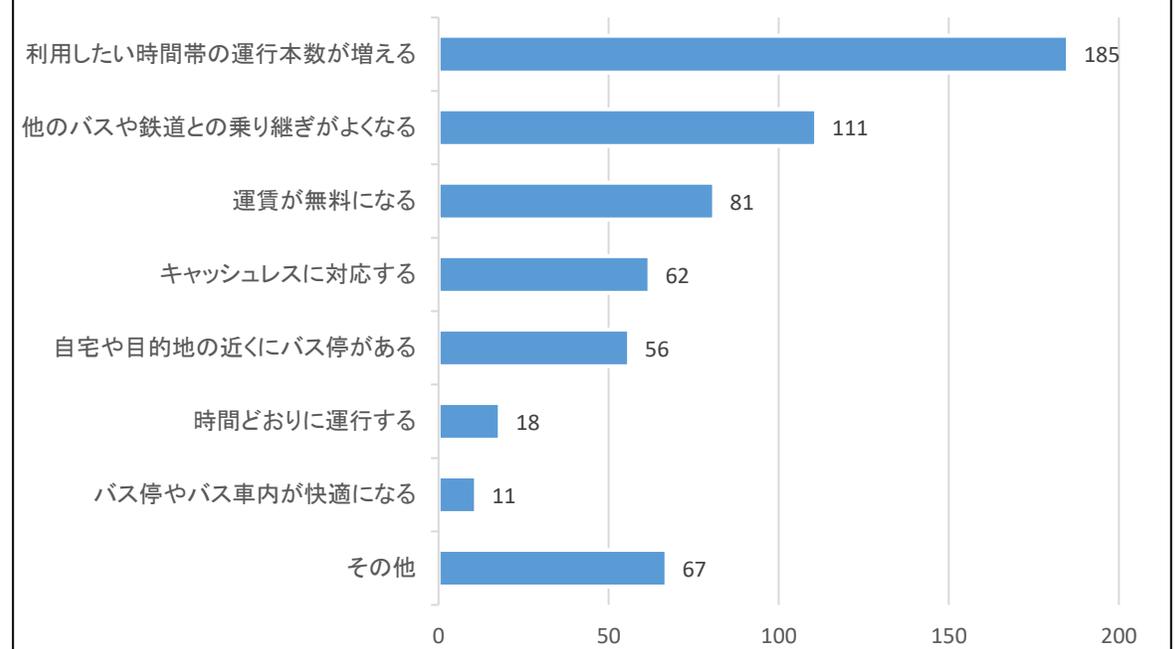
つつじバスを利用する理由、どのような改善があれば利用するか

- ・つつじバスを利用する理由として「自宅や目的地の近くにバス停がある」と回答した人が29名と最も多く、次いで「ほかに移動手段がない」と回答した人が25名、「交通費が安い」と回答した人が18名となった。
- ・どのような改善があれば利用するかについては、「利用したい時間帯の運行本数が増える」が185名と最も多く、次いで「他のバスや鉄道との乗り継ぎがよくなる」「運賃が無料になる」といった回答が多くあった。

利用する理由

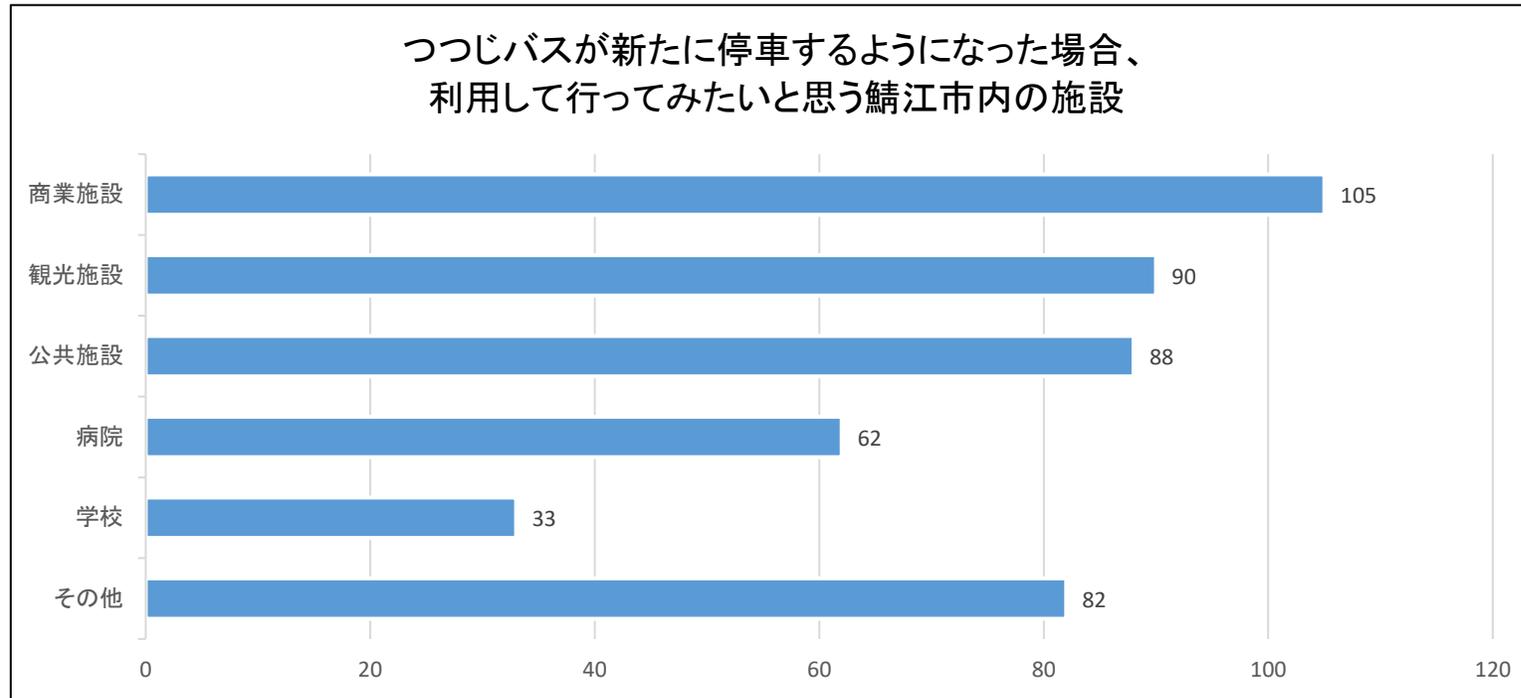


どのような改善があれば利用するか



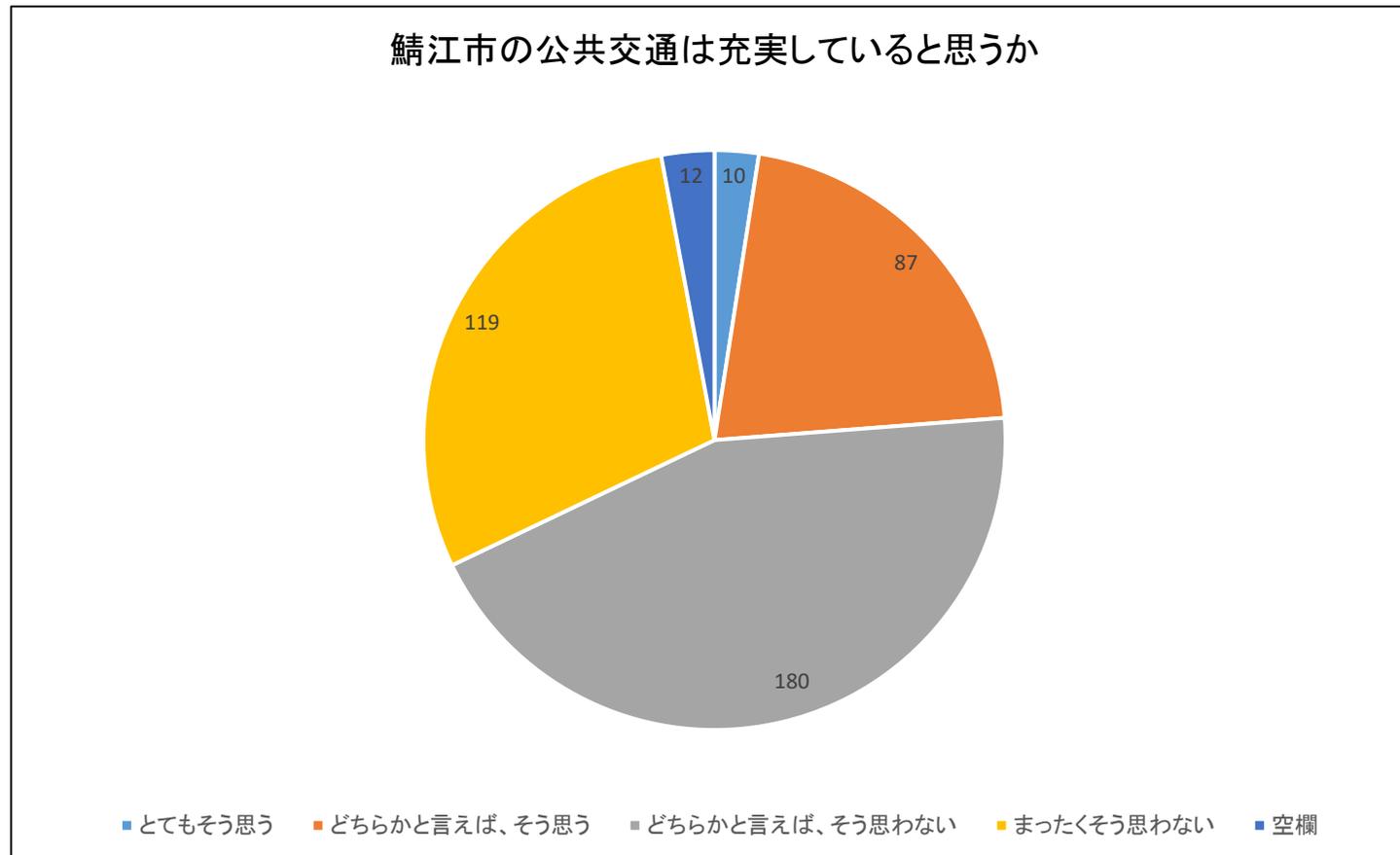
つつじバスが新たに停車するようになった場合、利用して行ってみたいと思う鯖江市内の施設

- ・460の回答のうち「商業施設」が最も多く105名、「観光施設」が90名、「公共施設」が88名、「病院」が62名、「学校」が33名、「その他」が82名となった。
- ・具体的には、居酒屋、カラオケ、最寄りの病院、健康の森、越前市の施設、行きたいところがない、といった意見があった。



鯖江市の公共交通は充実していると思うか

・「どちらかと言えばそう思わない」が180名と最も多く、「まったくそう思わない」が119名、「どちらかと言えばそう思う」が87名、「とてもそう思う」が10名という回答となった。



アンケート調査結果まとめ

- ・若者の自家用車の利用や高齢者でも運転免許証を返納していない人も多く、どの年代も約7割の人がつつじバスをまったく利用しないと回答し、鯖江市の公共交通は充実していると感じている人も約3割に留まった。
- ・利用している人は、他に移動手段がないという理由が多くあり、循環線を利用し買い物や通院に利用する人が多い。他に移動手段のない学生や高齢者の足になっている。また、つつじバスを利用し鯖江駅や神明駅に行く人も多く、市外への移動手段となっている。
- ・利用するための改善策として、運行本数を増やすことが多く求められている。運行本数が増えることで、次に多く求められている、他のバスや鉄道との乗り継ぎが良くなることにも繋がる。また、運賃が無料になること、キャッシュレスに対応することといった声も多くあった。